

Committed to the development of the profession of sign language interpreting worldwide

目次:

会長より近況報告 1

ロシア・コーカサス・
中央アジア最新情報 3

市川恵美子氏を偲んで 4

ASLIA 全国大会 6

最新情報は
こちらから

[Facebook](#), [Twitter](#)



www.wasli.org

WASLI会長デブラ・ラッセルより近況報告

世界手話通訳者協会の行事に対する皆さまのご協力に感謝いたします。前回のニュースレターの発行後、理事役員は大変な悲しみを受ける事となりました。我々の大切な友人で仲間である市川恵美子氏が逝去されました。エミコは2005年の南アフリカでのWASLI創設当時からアジア代表として活動してきました。そして、アジア地域内や理事会に対しても素晴らしい貢献をしてくれました。ろうコミュニティ組織との密に関わる姿勢、通訳者との堅固な関係、そして不断のエネルギーが全ての人からの尊敬と愛情を集めており、そのエミコを失った我々の悲しみは例えようがありません。

最初の90日間で理事は戦略プランを完成させました。それはWASLIの優先事項で、私たちがなし遂げるべき任務がリストアップされています。次はワークプランに対する予算案の作成です。その上で理事おのおのが自分の仕事を進めていきます。すでに終了したのは財務諸表で、ホームページにアップされています。新しい会計担当者は新規の会計検索システムを完成させたので、会計データが利用しやすくなり、定期的に会員が確認できます。大会終了後の報告書も完成し、そこには参加者オンラインアンケートの結果も掲載しています。これはいくつかの言語と国際手話に翻訳する予定です。資金援助プログラムについても、援助を受け今回のWASLI大会に参加した代表者の体験を載せた報告書が完成しています。この報告書は小委員会でも使用され、大会の開催年だけではなく今後3年間の安定した資金集めにつなげていきます。

8月にはオーストラリア手話通訳者協会の国内大会に出席しました。そのおかげで世界ろう連盟会長のコリン・アレンと協力会議を行い、またWASLI理事でオーストラリア在住のシーナ・ワルターズとスーザン・エマーソンにも会うことができました。



オーストラリア手話通訳者とデブ・ラッセル (中央)

cont.

ASLIAの素晴らしいおもてなしとお会いした通訳者のみなさんに感謝し、さらなる活躍をお祈りします。ここではなんとASLIA機会創設基金の援助を受けてこの大会に参加したフィジーとソロモン諸島からの通訳者にも会えました。このプログラムについては短いビデオがホームページとフェイスブックにありますので、見てください。



スーザン・エマーソン（2011年度機会創設基金コーディネーター）とメアリー・マネカ（援助を受けたソロモン諸島からの参加者）

WASLIとWFDは自然災害時におけるろう者の通訳利用に関する共同委員会のための取り決め事項案を作成しました。委員会ではWASLIとWFDに対して3部ずつの書類を作成します。この委員会はWASLIとWFDのために3部の文書を作成予定です。政府を導くための公式声明を提供するものとなります。ろうコミュニティが実際に情報アクセスできた国々の実践やコミュニケーションサービス計画のアイデアを一覧にします。私たちの代表はホセ・ルイス・ブラビア（コロンビア）とイゴール・ボンダレンコ（ウクライナ）です。WFD理事も2名が参加し、この仕事は2012年1月から開始します。

WASLIにはサポートをしてくれる通訳者がお恵まれています。ケリー・ステイン（アメリカ）には、世界盲ろう者連盟とのより親密な関係を築く方針の提案をいただいたことに感謝しています。ケリーは国際会議を開催しましたが、多くの方がWASLIのフェイスブックのボランティア募集を見て応募してきました。今後の活躍が楽しみです。我々の地域代表者はイベントなどに出席のため多忙にしています。我々のホームページにもありますが、トランスコーカサスはその先導役となっています。彼らの地域で行ったプレゼンテーションをホームページに掲載しています。このような手本を示し、またモスクワでのWFD地域会議では代表を非常にうまく務めてくれたイゴールに感謝しています。そのWFD地域会議で興味深かった話は、WFDとWASLIの地域再編成に関して、東ヨーロッパの数か国をトランスコーカサスへ編入させるということでした。協議の結果、名前もトランスコーカシアとすることになりました。これからの進展をどうぞ見守ってください。

スチュアート・アンダーソン（ヨーロッパ）は9月のEFSLI会議でWASLIの代表として参加し、ヨーロッパ地域の多くの国々との関係を築き始めました。セルマン・ホティ（バルカン）は最近、次回のWFDとWASLI会議の開催国であるトルコを訪問しました。セルマンとスチュアートは今後数年間トルコとともに通訳者組織を強化し2015年の会議を成功させるために取り組んでいます。オーストラリアへの私の旅のように、セルマンとスチュアートとイゴールの旅費は他の組織によって支払われました。つまりWASLIの資金は彼らの旅費には一切使用されていません。今回の旅行のスポンサーに感謝いたします。

ブレンダン・コステッロ（スペイン）とメアリー・トゥーマン（アメリカ）は2011年WASLI会議議事録の編集に励んでいます。そしてホームページ上の読み取り専用PDFでの無料出版形式と、安価でプリントアウトができる形式を提案しています。この提案は、議事録を買うことができるかどうかに関わらず、内容を知りたい人すべてが手に入れられることを確実にします。それはまた、WASLIが印刷、保管、世界中へ発送する手間が省けることにもなります。

クリストファー・ストーン（イギリス）とブレンダン・コステッロ（スペイン）からは調査検証チームとしての活動の申し出がありました。ご存じのように、研究者からはWASLIの会員に対する調査依頼があります。

数年間にわたって、申請書やろう者組織からの支援文書などの承認手続きの整備をしてきました。手続きをご希望の方はホームページの詳細をご覧ください。

小委員会がWASLIホームページの検証を行います。そして最新情報を得るためにホームページを閲覧する誰に対してもアクセスしやすくすることを提言します。WASLIはフェイスブックやツイッター、ビデオなどを投稿し続けますので、まだご覧になっていない方はこれらの手段を使用して私たちの情報を得てください。WASLIの6回目の誕生祝いの一部として理事会に関するすてきな紹介ビデオを作成しました。また通訳者に対し、各自の通訳者協会または地元ろう者協会に6時間分の無償労働をするよう奨励してきました。WASLI理事のメンバーは皆すでに6時間分の労働を行いました！

個人会員や他国のためのスポンサー基金に参加している方、発展途上国の通訳者会費を支払った方たちに対し、私たちの世界規模の専門活動に寄与していただき感謝いたします。理事の私たち、特にご自分の地域代表者に気軽に連絡をとっていただきたいと思ひます。

よろしくお願ひいたします。

デブ・ラッセル

WASLI会長

コリン・アレン (WFD 会長) とデブ・ラッセル



WASLIロシア・コーカサス・中央アジア代表者であるイゴール・ボンダレンコからの最新情報

10月12日にイゴール・ボンダレンコは、ロシアのモスクワで行われた東ヨーロッパおよび中央アジア地域のWFD地域事務局会議に出席しました。イゴールは世界中でのWASLIの活動の様子を発表する機会に恵まれ、彼の地域内での活動予定を説明しました。この会議によって、WASLIの目的や方針の普及に対し、またWASLI地域代表者に対する将来の支援にも参加者からの賛同をいただくことができました。



また、イゴールはこの機会にWFDの理事であるドミトリー・レブロフと会談しました。災害時に政府、ろう者、通訳者にとってきわめて重要な連絡基準に関する方針説明書の作成を進展させるための実行計画について話し合いました。

左：イゴール・ボンダレンコ（後列左から2番目）、WFD地域会議、モスクワにて

市川恵美子氏を偲んで

恵美子さん

こんなに早くあなたにさよならを言わなければならないなんて、誰が想像していたでしょう。あなたを失ったショックと悲しさで、言葉もありません。10月29日に日本も世界も大きな宝物を失いました。

あなたは大学生のとき手話と出会い、それ以来、ずっと聞こえない人たちとともに歩いてこられたね。手話にかかわる聞こえる私たちの組織、全通研を立ち上げ、日本の手話通訳制度の発展に力をそそいできました。「ろう者抜きの手話なんて、ありえない。手話は聞こえない人の言葉なんだから」というあなたの言葉は、私の活動の原点です。

WASLI 理事になり、理事会に出席したりアジア手話通訳者会議を開くなど、世界を舞台に精力的に活動されました。英語がわからないあなたの側では、いつも全通研国際部のメンバーが通訳していましたね。でも、あなたは通訳された言葉の奥にあるみんなの「気持ち」を鋭い感性で感じ取っていました。あなたの笑顔と的確な言葉が、どれほどアジアの仲間を励ましたことでしょう。

私たちは、ほんとうに大切な人を失いました。でも、いつまでも悲しみにしずんではいられません。これから私たちはあなたが築いてきた実績を引き継ぎ、世界中の仲間とともに前を向いて進んでいきたいと思います。

あなたと一緒に活動できたことを、感謝しています。

梅本悦子
全通研国際部長



弔辞 ゼイン・ヒーマ:

ゼインと恵美子

私がエミコに初めて会ったのは、南アフリカ、ウースターでの2005年WASLI会議初開催の時でした。その後、私たちの関係が非常に重要でとても素晴らしいものになるなどは当時は思いもよりませんでした。2005年にエミコはWASLIアジア地域代表者に選任され、私はWASLI事務局長となりました。その後少しずつ、エミコの取組みが理解できるようになりました。特にエミコはWFDアジア太平洋地域事務局と協働し、彼らの年次会議の際にその参加国の通訳者同士も会合できるようにしました。その結果、通訳者はそれぞれの国の様子がわかり、また、通訳に関係するような問題を共有し討議することもできるようになりました。

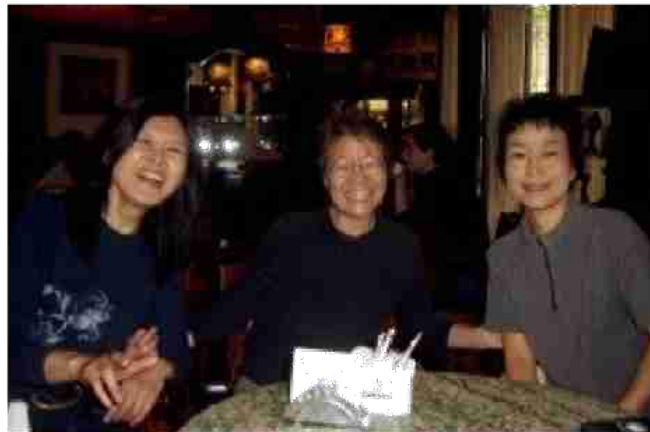
顕著な業績としては、全国手話通訳問題研究会での活躍や、他の組織との協働で日本での手話通訳者の養成体制とプログラム作りです。私が世界の情報を集めていた時に、エミコは日本の通訳者養成変遷の詳細を提供してくれ、非常に参考になりました。

私は個人的にもつきあいがあり、エミコは非常に意志が強い反面、チャーミングで愉快的な人柄でもありました。特に WASLI 理事会の長い会議の後には、笑いに包まれた楽しい時間を彼女と過ごせたステキな思い出がたくさんあります。私は日本語が話せず、彼女は英語ができませんでしたが、彼女の英語の方が私の日本語よりは数段上だったと思います。しかし、そんなことは問題ではありませんでした。お互いに理解し合うすべを見つけることができたのです。

イチカワエミコさん、本当に残念です。しかし、あなたの日本、アジア地域、そして世界中での私たちの専門分野の発展への貢献を私は忘れません。また、私が全国手話通訳問題研究会を訪れた際のすばらしいもてなしと、共に過ごした貴重で幸せな楽しいひとときも忘れることはないでしょう。

ゼイン・ヒーマ

エミコと前理事、友人



弔辞 リズ・スコット・ギブソン:

私が市川恵美子氏と初めてお会いしたのは2005年、南アフリカでのWASLI初会議の時でした。私たちは共通の言語を持っていませんでしたが—私は日本語が全くできませんし、エミコも英語が得意という訳ではありませんでした—彼女の豪快さとエネルギーで会話が成立してしまうのです！アジア地域代表の最初のWASLI理事としてエミコがいてくれたことは恵まれていました。彼女は責任感が強く、手話通訳の職業としての水準の向上を目指し、たゆまぬ努力を続けていました。彼女はアジアの通訳者と協働しアイデアや経験を共有できるように導き、WASLI会員になるように勧めていました。また、収入の少ない国の通訳者がWASLI会議に参加できるようにWASLIスポンサーシッププログラムにも熱心に取り組んでいました。私はエミコに対して、寄付の「勧誘」が上手な茶封筒を携えた人、というステキなイメージを抱いています。アルゼンチンでの理事会で小柄なエミコが体格のいい会計担当者ダニエル・バーチに誇らしげに小切手を手渡していたことが思い出されます。

エミコは周りにも広がっていくような笑顔ときらきらとした瞳をしていました。理事会は仕事づくめではなく—楽しみもありました。エミコは楽しい笑い方をする人でした。しかし、思い通りに物事が進まないときには彼女は堅固で非常に行動的にもなりました。全日本ろうあ連盟とのすばらしい連携は世界中の通訳者協会の見本となるものでした。東日本大震災の際にその連携を実現できた彼女の経験は、WASLIが現在取り組んでいる自然災害時の行動指針作成に貴重な見識を与えてくれています。

私はとても幸運なことに、昨年、日本手話通訳士協会の20周年記念大会を手伝うために日本に招かれました。当時、エミコは手術後の回復のため入院中でしたが、どうしたものか医師を説き伏せて短時間で私に会いに来てくれました。その時彼女と話ができたことはこの上なく幸運でした。彼女の笑顔は忘れません。彼女の功績はすばらしいものです。WASLIは彼女の活躍があって発展しました。私は彼女と知り合うことができ幸せでした。残念でたまりません。



ダニエル・バーチに小切手を贈るエミコ

フィジーのゲール・セルは自身のオーストラリア手話通訳者協会（ASLIA）国内大会への代表参加の様子を報告しました。ゲールは機会創設基金（COF）のスポンサーで参加しました。スポンサーによって2011年会議に出席した発展途上国からの3人の通訳者のうちの一人です。

Bula!!!（フィジーの言葉で「こんにちは」）
私は機会創設基金の代表として選ばれ、オーストラリアのシドニーで開催された2011年ASLIA大会に参加することができました。私はまだ新人ですので、その選考結果通知には非常に驚きましたが、おそらく通訳経験の長さではなく、結びつきや関係性が最も重要視されたのだと思います。

デブラ・ラッセル、カレン・ボンテンポ、マルセル・レナハン、デラ・ゴスウェルなど、少ししか挙げられませんが、今までは名前しか知らなかった方々にお会いできたのは光栄でした。プログラム構成は完璧で特にオークション・ナイトは最高でした！本当に感動的だったのは、来年のCOF代表者がASLIA大会に参加できるための資金を募る入札でオーストラリアのみなさんが情熱的で意欲的だったことでした。その晩に司会役だったろうの若い女性の読み取り通訳をデラ・ゴスウェルがフランス語訛りの大声で務めていたのを聞いた時は驚きました。

私がオーストラリアの通訳者の専門性を直に目の当たりにすることができたのは、すばらしい経験となりました。フィジーの現状から見るとまだ道のりは遠いですが、私たちの置かれた環境で一生懸命に活動し、いつか私もこのような専門的通訳者になりたいと思います。

知り合いができたことをうれしく思っています。また、仲間と分かち合うために様々な資料をフィジーに持ち帰りました。9月にはワークショップがあり、私はこの会議についての経験を発表しました。カレン・ボンテンポが様々な情報資源を提供してくれたことに感謝しています。おかげで他の通訳者にも資料を配ることができました。これは、解説書として、また日常業務にも役立っています。

このようなすばらしい機会を与えてくださった COF 協会に心より感謝申し上げます!!!



ゲール・セル



COFのオークション用のフィジーのお土産を見せるロラニ・クナドアとゲール・セル(フィジー)



ソロモンの伝統的な踊りを披露するメアリー・マネカ(ソロモン諸島)



ASLIA機会創設基金に関する詳細はこちらのビデオをご覧ください: <http://www.wasli.org/creating-opportunities-fund-p146.aspx>



WASLI 6歳のハッピー・バースデー！

理事からのお祝いメッセージをご覧ください：

<http://www.youtube.com/watch?v=AIPalM4Yfd8>

身近なニュースを世界に知らせましょう！

あなたの地域の最新情報やお知らせ、記事、写真を
2012年度WASLIニュースレターにお送りください。

Eメールの宛て先はこちらです： newsletter@wasli.org

重要事項

このニュースレターの記事内容がすべて世界手話通訳者協会の考えを表しているとは限らない。WASLIニュースレターは、編者がWASLI理事及び外部からの寄稿者と共に作成しています。WASLIは発信した情報の信頼性を確保するように努めます。我々は公開されているすべての情報を編集する権限を持ちます。WASLIは発信された内容の正確性や意見についての責任は一切負いません。出展さえ明らかにすれば、このニュースレターで発信された情報を他の場所でも使用することができます。WASLIの公的な写真の使用許可申請及びメールアドレスの変更はsecretary@wasli.orgまで

WASLI 理事会

役員：デブ・ラッセル (会長);ホセ・ルイス・プリエバ・パディラ (副会長);アオウィ・パトリック・マイケル (事務局);スーザン・エマーソン (会計)

地域代表：シーナ・ウォルターズ (南洋州・オセアニア); サミュエル・ベグミサ (アフリカ); セルマン・ホティ (バルカン); スチュアート・アンダーソン (ヨーロッパ); ホセ・エドニルソンJr. (ラテンアメリカ); ナイジェル・ハワード (北アメリカ); イゴール・ボンダレンコ (ロシア・コーカサス・中央アジア); アジアー調整中

WASLIボランティア

WASLIホームページ管理者:ディビッド・ウォルフエンデン

WASLI会員管理:ロビン・デムコ

WASLI 翻訳コーディネーター: ラファエル・トレビーノ (他ボランティア)

会報編集:アンジェラ・マレイ

会報編集補助: ジョージ・メイジャー

会報校正:パトリック・ガラッソ、アラン・ウェンツ